

株式情報



株式の状況

発行可能株式総数	90,840株
発行済株式の総数	22,762株
株主数	1,373名
上場証券取引所	大阪証券取引所ヘラクレス (コード番号3845)

※株主数には当社自己株式は含めておりません。

大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	出資比率(%)
永田万里子	10,700	47.01
株式会社アイフリーク	992	4.36
RIP1号R&D投資組合	600	2.64
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー505086	493	2.17
個人	480	2.11
個人	439	1.93

※当社は自己株式992株を保有しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎事業年度終了後3ヶ月以内
配当金支払株主確定日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
お問い合わせ先	三菱UFJ信託銀行株式会社 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 (証券代行部) 電話：0120-232-711 受付時間 土・日・祝日を除く 9:00~17:00

(2010年3月31日現在)

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社アイフリーク 東京支店 経営企画グループR担当
電話:03-5457-7516 (平日9:30~18:30) FAX:03-5457-7510

※メールでのお問い合わせは弊社コーポレートサイトの問い合わせフォーム
(<http://www.i-freek.co.jp/inquiry/>) よりご連絡ください。

会社情報



会社概要

会社名	株式会社アイフリーク
設立	2000年6月
本社	〒810-0022 福岡県福岡市中央区薬院一丁目1番1号 薬院ビジネスガーデン9階 Tel: 092-738-3800 Fax: 092-738-3803
東京支店	〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂一丁目12番1号 渋谷マークシティウエスト16階 Tel: 03-5457-7500 Fax: 03-5457-7510
従業員数	156名 (役員・従業員含む)
資本金	458,208千円
決算期	3月

役員	代表取締役社長	永田 万里子
	取締役	橋本 裕
	取締役	伊藤 幸司
	監査役	光安 直樹 (公認会計士・税理士)
	監査役	吉原 洋 (弁護士)
	監査役	鍋崎 俊也

(2010年3月31日現在)

株主の皆様のお声を聞かせてください

株主様向けアンケート

当社では、株主の皆様のお声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示される
アンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<http://www.i-freek.co.jp>
アクセスコード 3845

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。



※本アンケートは、株式会社エーツメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツメディアについての詳細
<http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30)
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com

2010年3月期(2009.4.1~2010.3.31)

第10期 報告書

With the evolution
of a mobile life
モバイルライフの進化とともに



株式会社アイフリーク



代表取締役社長 西田 麗子

人々の想いが
伝わる・繋がる・広がる
世の中の日常に
喜びと感動を提供します。

株主の皆様へ

株主・投資家の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

コミュニケーションの歴史は、文化の歴史であり、時代とともに多様化し、進化し続けてきました。特に2004年より普及した携帯メールの進化版である装飾メール（HTMLメール）は、人と人とのコミュニケーションに新しい表現を可能とするコンテンツサービスとして多くの利用者の支持を集めました。

そんな中で、アイフリークは「Entertainment・Convenience・Benefit」をコンセプトに、新たなコミュニケーション文化の創造を目指し誕生しました。特に装飾メールによるコミュニケーションを“デコメーション（デコレーション・メール・コミュニケーション）”と名づけ、20代から30代の女性ユーザーを中心に幅広い層から支持を得ています。当社の全会員数は170万人（2010年3月末時点）を超え、携帯キャリア各社と一緒に市場をつくりあげてきたパイオニアであると自負しています。

また、モバイルコンテンツ事業で培ってきたビジネスリソースと優位性を武器に、Eコマース事業の新たなビジネスモデル構築を推進します。2009年7月にはITギフト事業を行っていた子会社フィール・ジーを合併、11月にはF1層を中心に多くの会員をもつモバイルECサイト等を運営する日本インターシステムとも合併し、各社のノウハウを融合させ、事業シナジーをより生み出せる環境を整えるとともに、管理コストの低減や効率化への環境も着実に整えています。

今後も、コミュニケーションプラットフォーム提供企業として、ユーザーに喜んでいただけるサービスを、年代問わず幅広い層へ提供していきます。また、物販サービスの展開をこれまで以上に加速させ、新たなサービスを創出する文化創造者として、「人々の想いが伝わる・繋がる・広がる」「世の中の日常に喜びと感動」を提供していきます。

株主の皆様には、引き続き温かいご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■ 業績について

当社グループの当連結会計年度における業績は表の通りでございます。

当連結会計年度は、主業であるモバイルコンテンツ事業及びEコマース事業の事業基盤を強化すべく「新市場の開拓」及び「新会員獲得施策」を重点課題と位置付け、各種施策を実施し事業展開を行ってまいりました。また、株式会社フィール・ジー及び株式会社日本インターシステムの吸収合併を機に、人材の流動化並びにオフィス集約による業務統合等を目的とした福岡本社及び東京支店の移転を行いました。

当連結会計年度に実施いたしました新たな顧客獲得のための各種施策は、利益面においては全ての成果が当連結会計年度に反映されるものではなく、次年度に好影響を与える成果も多く含まれております。さらに、合併や移転による業務コストの最適化が進むため、この点においても次年度に利益貢献が見込まれます。

※当社グループは、連結子会社であった株式会社フィール・ジーを2009年7月1日、株式会社日本インターシステムを2009年11月1日に合併しており、当期からは非連結となっております。

	2010年3月期	2009年3月期	対前期増減率
売上高	3,282百万円	3,314百万円	△1.0%
営業利益	81百万円	104百万円	△21.9%
経常利益	91百万円	88百万円	3.7%
当期純利益	54百万円	△142百万円	-%



社名である「アイフリーク」の「アイ」は「インターネット」を意味する言葉をもとに「私」「愛」を表現しています。「フリーク」は「free」「freak」自由な発想と熱狂的なまでの仕事への姿勢を表現しています。加えて、アイフリークのロゴは「頂上の星を目指す」という思いを表現しています。

わたしたちは I*FREEK であり続けます

■ 今後の見通し

当社グループは、「新しいモバイルコミュニケーション・ツールによる新しいライフスタイルの創造」をビジネスドメインとした展開を進めております。

全社的な展開といたしまして、SIMロックの解除、スマートフォン市場の成長等を鑑み、顧客情報資産の更なる増強を図り、顧客とのリレーションを強固なものとしてまいります。

モバイルコンテンツ事業におきましては、デコメーション事業において収益を確保しながら、SIMロック解除への影響に対応し、スマートフォンの増加への対応等を行ってまいります。また、Eコマース事業におきましては、自社開発商品の展開を積極的に推し進めながら、顧客の趣味趣向のデータを収集し、事業としての利益率向上を図ってまいります。

	2011年3月期業績予想
売上高	3,246百万円
営業利益	350百万円
経常利益	352百万円
当期純利益	238百万円

※上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

当社グループは、既存事業からの収益を維持しつつ、市場の拡大及び未来の利益創出のため、将来の事業規模拡大を鑑みた展開を実施してきました。

	2010年度		2011年度
	期首重点課題	期末実績	今後の見通し
モバイルコンテンツ事業	会員獲得の取組 <広告効果の最大化>	TVCMと広告を連動させた業界初の会員獲得手法実施 (その他費用対効果の見込める広告開発及び検証)	会員獲得方法の開発/検証結果を基に会員獲得を実施 ⇒コストの抑制が可能!!
	新機能開発 <市場開拓、既存事業強化>	デコメ変換機能の開発 (誰でも使いやすい利便性の高い機能の提供)	デコメ利用の進化系として積極投入し、市場の拡大と既存事業強化 ⇒スマートフォン市場へも投入!!
	新規サイトの投入 <多様化するユーザーへの取組>	ターゲットを明確にした商品力の高いサイトの投下 (デコメサイトだけではなく、占いサイトも投下)	多様化するユーザーニーズに更に対応 ⇒スマートフォン市場も見据え展開!!
Eコマース事業	オリジナル商品開発 <企画商品力の強化>	ユーザーニーズを反映させたオリジナル商品開発 (芸能人とのコラボ等)	顧客データを基に、消費者が望む商品を開発し展開 ⇒積極的なオリジナル商品開発!!
	新市場の開拓 <新たなプラットフォーム提供>	ソーシャルアプリの投下 (ミクプレ等の機能提供)	新たなチャネル構築を目指す ⇒ユーザーとの接点を多く持つべく展開していく
全社	海外市場への取組 <新市場への挑戦>	海外展開3カ国目 (シンガポールへの展開)	海外市場の業界ニーズとユーザーニーズの把握を進める ⇒テストマーケティングを実行!!
	業務生産効率化 <コスト抑制>	事業所集約と業務生産ラインの再編	更なる効率化を進めコスト抑制 ⇒利益体質への帰帰!!

モバイルコンテンツ事業



どの世代にも愛され続けるシンプル&ナチュラル系テイストのデコメーションサイト



多様なユーザーニーズに対応すべくターゲットを絞った多数の新規サイトをオープンしましたが、その中でも特に会員数が増加中の「ナチュラルデコ」をピックアップ！担当者に聞きました！

Q、デコメーションサイト「ナチュラルデコ」ができた経緯を教えてください。

A：現在のデコメールの主流は可愛い系ですが、ナチュラルなテイストは幅広い年代に愛され続けています。そこで、大人の女性も使えるような新しいタイプのサイトを立ち上げました。

Q、お客様の反応を聞かせてください。

A：「流行の森ガール風な、レースやコラーージュ、水玉、ボタン、動物、スイーツ系の落ち着いた絵柄や敬語を使用している素材が多く、とても使いやすくて助かっています。」と、大変ご好評頂いています。

※「森ガール」とは、「森にいそうな女の子」をテーマとする、ゆるく雰囲気のあるモノを好む少女趣味のありよう、またはそのようなファッションスタイル。

オープンした多数の新規サイト



ミドルエイジ世代の男性も楽しめるサイト



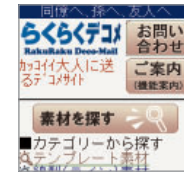
<デコリーマン>



キャラに特化した「チビデコ」等が中心のサイト



<はさんでキャラデコ>



日本初！シニア向けサイト



<らくらくデコメ>



女子中高生に人気「前略プロフィール」の携帯占いサイト



<前略プロフィール占い>

Eコマース事業

お客様の立場に立ち研究に研究を重ね、多種多様なユーザーニーズに対応したオリジナル商品の企画開発を実施！担当者に聞きました！



<トレジャスリップ>



<ドレスマスカラ>

Q、商品を企画する際にどのような思いを持って行っていますか？

A：商品を使った人の反応を想像しながら満足度を第一に考えています。また、一切の妥協をすることなく、細部にまでこだわり抜き考えうる最高のものを開発しています。

Q、お客様の反応を聞かせてください。

A：「理想のものに出会えました！使い続けます！」「本当に良いものを開発してくれてありがとう！」などの声を頂くと嬉しいです。

商品取扱サイトはこちら



<サイバーショップ21>



<SHOPPING.JP>

美メール レシピ 書籍出版



代表永田執筆「美メールレシピ (幻冬舎MC)」2010年4月13日発売！
文字だけのメールでは、気持ちが7%しか伝わってないかもしれない？
大切な想いを伝える方法伝授します！



情報料
無料

アイフリークファンサイト
「アイフリークCafé」
2010年4月13日オープン

「もっと私達のことを知ってほしい！」
「もっと沢山の皆様と繋がりたい！」
そんな想いでコミュニケーションサイトをオープンしました。今後も、さまざまな情報を多数発信していきます！

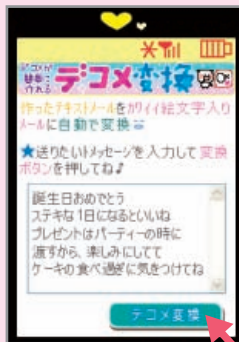
デコメ利用率100%への新サービス！誰でも簡単にデコメ作成が可能！！

デコメ変換サービス

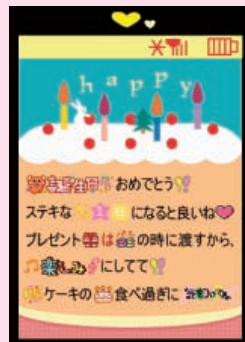
◆デコメ有料利用率10.7%※ デコメ普及には簡単・便利が必要◆

デコメールについて、独自調査の結果、「使いかたが難しい」「使ってみたが操作が面倒」といった意見がありました。そこで当社は、デコメール作成の利便性を高め、簡単、使いやすさを追求した結果「デコメ変換サービス」を開発しました。今後「デコメ変換サービス」は、キャリア搭載を含め、スマートフォン市場へも投入しながら、進化系デコメシステムとして展開させていく予定です。

味気ないテキストのみ



表現力豊かなメールへ！



※変換イメージです

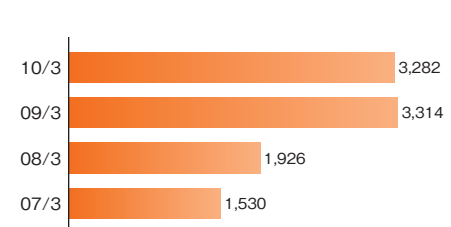
ワンクリックで簡単変換！

デコメ変換サービス機能が使えるサイトはこちら↓

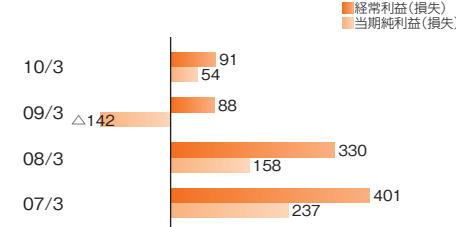


※ QRコード()を携帯電話のバーコードリーダー機能で読み取っていただくサイトに繋がります。
※ 「デコメーション」は、当社グループが提供する携帯電話向けHTMLメールサービスの総称です。
※ 「デコメ」「デコメール」は、株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモの登録商標または商標です。

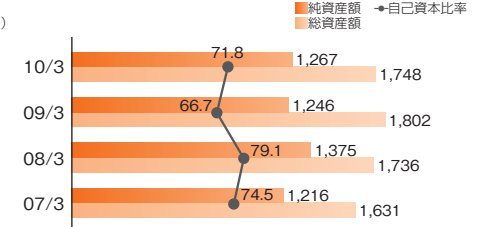
売上高



経常利益(損失)/当期純利益(損失)



純資産額/総資産額/自己資本比率



損益計算書

(単位：百万円)

科目	前期	当期
	2008年4月1日から 2009年3月31日まで	2009年4月1日から 2010年3月31日まで
売上高	3,314	3,282
売上原価	1,579	1,530
売上総利益	1,735	1,752
販売費及び一般管理費	1,630	1,670
営業利益	104	81
営業外収益	3	14
営業外費用	19	4
経常利益	88	91
特別損失	113	47
税引前当期純利益	△24	57
法人税等	95	5
法人税等調整額	18	△2
少数株主利益	3	-
当期純利益	△142	54

貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期	当期
	2009年3月31日現在	2010年3月31日現在
資産の部		
流動資産	1,268	1,221
固定資産	534	527
有形固定資産	59	61
無形固定資産	248	243
投資その他の資産	226	222
資産合計	1,802	1,748
負債の部		
流動負債	556	315
固定負債	-	166
負債合計	556	481
純資産の部		
株主資本		
資本金	458	458
資本剰余金	448	448
利益剰余金	342	396
自己株式	△46	△46
株主資本合計	1,202	1,257
評価・換算差額等	0	△1
新株予約権	5	10
少数株主持分	38	-
純資産合計	1,246	1,267
負債純資産合計	1,802	1,748

キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	前期	当期
	2008年4月1日から 2009年3月31日まで	2009年4月1日から 2010年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	42	164
投資活動によるキャッシュ・フロー	△405	△282
財務活動によるキャッシュ・フロー	81	43
現金及び現金同等物の増減額	△281	△73
現金及び現金同等物の期首残高	714	432
現金及び現金同等物の期末残高	432	358

事業別売上高

(単位：百万円)

科目	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期
	売上高合計	1,926	3,314
モバイルコンテンツ事業	1,789	1,816	2,032
モバイルイノベーション事業	97	166	-
Eコマース事業	40	1,331	1,250

※2009年10月1日の組織変更により、モバイルイノベーション事業は、モバイルコンテンツ事業と統合しております。

素材数の推移

(単位：点)

期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期
約86,000	約125,000	約196,000	

コンテンツ会員数の推移

(単位：名)

期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期
約994,000	約1,194,000	約1,789,000	

登録クリエイター数の推移

(単位：名)

期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期
約3,200	約5,200	約7,000	